

第1回天羽地区説明会会議録

1. 日時 平成29年2月10日（金）19:00開始

2. 会場 市民会館

3. 教育部参加者

岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、三浦学校教育課指導主事、財前教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事

4. 保護者参加者 67名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
	1 開会の言葉
	2 出席者照会
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
須藤主幹	4 富津市小・中学校再配置計画（案）についての説明
	5. 質疑
保護者	スクールバス運行に伴う道路整備はどのくらいまで進んでいるのか。
鶴岡課長	今後、進めていかなければならない課題である。現在、その道路のかかる土地所有者の確認をしている。道路整備の区画は決定されていません。天羽中の周りは、マイクロバスがやっと通る道なので、先にどんどん進めていかなければいけない。
保護者	学童保育は、統合した場合、まとまることによって便宜が図られるのか。
今井課長	湊小に学童保育はないので、子育て支援課と相談をして進めていきたい。子ども達の登下校はスクールバスで全て対応していきたい。台風や午前授業にも対応していく。
保護者	説明会努力してくださっていることに感謝している。まちづくりの会長

	<p>をやっているが、富津市のまちづくりを市政と一緒に市民も考えなければならぬ。限界集落は学校がなくなったことが原因。スーパーもなくなったり、いろいろなものがなくなる。学校は町を活性化するもの。教育委員会だけではなく市長さん達とも相談をしてもらいたい。そういう観点からもまちづくりを考えていただきたい。いい富津市をつくるために、こういう意見も聞いてほしい。よろしくお願いします。</p>
岡根教育長	<p>私の住む所は佐貫町ですが、それぞれの伝統をもって培われてきた。学校がなくなると寂れてしまうのはわかりますが、地域のコミュニティーをつくるのも大切だと思う。竹岡コミュニティーセンターで子ども達の作品を飾るのを見ていいなと思った。竹岡小がなくなって、地域でコミュニティーをつくっていくのかなと思う。地域で子ども達を見かけたら声をかけてくださいと佐貫ではお願いした。そうやって地域のコミュニティーを作っていくってほしいと思う。</p>
保護者	<p>4、5年後には天羽中は同じようなことが起こると思うがそこはどう考えているか。</p>
岡根教育長	<p>P 9 佐貫小、天羽中のところを見てください。資料の地図 P 14 は学区を示してあります。天羽中、天羽東中の学区は広いので、通学の安全性から中学校は3つ必要だろうと考えています。人数が少なくなっても、天羽中は存続させていかなければいけないかなと思っている。</p>
保護者	<p>中学校は大人数で切磋琢磨して心も充実していけたら、富津中、佐貫・大貫も含めた学校のような大きな学校を考えてもらえたらと考えている。みんなが集まる大きなものというのでも検討してほしいと思う。</p>
鶴岡課長	<p>天羽中の新築ということも考えたが、新規の場所を用地買収すると水道などインフラ整備をすることになる。そういう場合は、7・8年かかることが予想される。経済的なことも考えなければいけないこともあり、今の案を提示させていただいている。天羽中は雨漏り、床のゆがみ、トイレなど老朽化が進んでおり、現在の所に建設するのが好ましいと考えた。</p>
保護者	<p>天羽東中と環小の話し合いではどんな意見が出たのか、聞きたい。</p>
須藤主幹	<p>天羽東中と環小の質問では、天羽中の校舎のこと、天羽東中に来ることはないか、部活動はどうなるか、制服やジャージはどうなるか、PTAはどうなるかという質問が出ています。今後、質問を Q&A 形式で伝えて理解を得ていきたいと考えている。</p>

保護者	Q&A の報告があると聞いたが書面にしてほしい。印刷して配布していただきたい。
今井課長	現在 Q&A を PTA、保護者、地区の皆さんに書面にして目にふれるようにしていきたいと考えている。
保護者	平成 32 年度に突然統合するのか。その前から交流していくのか。
今井課長	小中でもやっていく。小 1～小 6 まで交流を繰り返して人間関係をつくっていききたいと思う。
保護者	1 年生から入ってくる。幼稚園、保育園の子ども達の交流はできないのか。保育所も置いていかないようにお願いしたい。
今井課長	幼稚園、保育園から上がってくる子達は、今でもいろいろな所から集まってきた。学級担任がそれぞれ違う所から来ても、今までも対応しており、今後も同じように対応していく。なので、交流は 1 年生からと考えている。
保護者	反対の意見があつたらなくなるのか。 地域の説明会を考えているのか。最終的にはどこで判断するのか。
今井課長	反対の意見には回答をきちんと書いて提示していく。保護者の方へは、話し合いを考えている。地区に入って、このような会は再度考えていない。保護者からアンケートを取っているの、それらも回答の中で示していく。再度意見をいただければ回答していきたい。今のところ保護者会は考えてはいない。
保護者	スケジュールについてですが、報告・説明を私達は受け止めるということで、これから意見を出せると思う。その後、私達が考えたことを聞いてもらう機会を設けてほしい。そういった丁寧さをもって案から決定していくようお願いしたい。
今井課長	P 14 スケジュールにもあるように、個別の計画をつくっていく時には、保護者、地域の方に協議検討していただいてつくっていこうと思っています。また、ご協力をお願いします。
保護者	教育委員会の方は、ご家族の方とやっているが、私達が心配しているのは、地域が寂れていくこと。学校がなくなることがとても大きい。学校だ

	<p>けで決めていくのはいけない。</p>
今井課長	<p>区長さん達とも連絡を取り合いながら検討していく。</p>
保護者	<p>地域の古い文化、天神山小では子ども達が古い城を見学したり、高齢者とグランドゴルフの交流をしている。地域と密着した教育を今後どうするのか。</p>
今井課長	<p>東京に行って発表したというのも知っている。各学校は地域学習を総合の時間にやっている。地域が広がる中で金谷から湊まで視野を広げていきたい。関豊小はなくなったけれど、今でもどんど焼きで地域行事に子ども達が参加している。地域の行事に子ども達を参加させるのは大切。そういう目で育てていただければと思いますのでよろしくお願いしたい。</p>
保護者	<p>小学校がなくなっちゃう。後の活用を考えなきゃいけない。</p>
鶴岡課長	<p>いくつかの学校が閉校したら、市全体の公共施設の検討を庁内全体で行う。学校としては活用しなくても、公共として利用可能かを考えていく。公共がだめなら、民間へ売却か賃貸かという選択にもなる。再配置と一緒に考えている。</p>
保護者	<p>湊小と天羽中と一緒に湊小で生活する。これは分離できないのか。天神山小に小学生が行くとか。</p>
須藤主幹	<p>湊小が天神山小に行った時、まだ、天神山小は学校がやっているので湊小は入れない。</p>
保護者	<p>5年後の平成34年度には、天羽中へ62人環小から入ってくる。（注：在校生が62人）その環小の心配をどう考えているのか。</p>
今井課長	<p>環小の保護者の方の中にも平成32年度と一緒に統合できないかというご意見があった。環小の多くの意見なのか、協議が必要なのか。保護者説明会、個別計画で明らかにしていきたい。</p>
保護者	<p>金谷小の閉校の後、どうするのか考えているのですか。</p>
岡根教育長	<p>計画の中で進めていきたいとご提案している。案がとれていないので、そこはまだである。</p>

保護者	まだ、はっきり決まっていななら、地元の意見を聞いてもらいたい。
今井課長	統合することがはっきりし、閉校が決定した場合は、市と地元の方の意見を聞きながら進めたい。
保護者	富津中、大貫中、天羽中、3校でやっていくと聞きましたが、10年後、また同じように天羽中が減ったら、佐貫中と佐貫小が天羽中の方を取り込んだらどうか。
今井課長	学区改変していく。どのようにしていくか。次の計画でどうしていくのか、私達も認識している。
保護者	20年後、再配置した場合、クラス数や児童数減っているのか。増えたら学校を復活するのか。実際どうするのか。
岡根教育長	富津市総合戦略では2040年30,769人と予想されている。それを34,000人にしていこうとしている。今より12,000人減っていく。地区によって増える所もあるだろうが現状としては減っていくと思う。
保護者	減っていく可能性が高いということか。
保護者	再配置構想は後戻りできなくなる。これだけの広大な地域を1つの学校にしていくのは、不安がある。やむを得ないと話しがあったが、児童生徒を中心にすべき。本当にこれで納得するのか。子どもの教育条件だけでなく地域とここまで議論があったのか。まだ、他にも案があるのではないか。学校が地域のコミュニティーである。分校的な扱いで学校を残して欲しいという話しはなかったのか。説明して欲しい。
岡根教育長	平成21年3月に様々な人を含めて構想した。計画通りに進んでいなかった。関豊小、環小の統合によって充実していることをとらえ、子どもの成長が見られた。ある程度、よりよい環境をつくるのには、この形がよいかなと思っている。
保護者	中学校は一緒にした方がよい。小学校は、地域の独自性で地域のよりどころである。震災の時の避難場所はどうするか。
今井課長	市内の学校は避難場所に指定されている。跡地利用も視野に入れて考えていく。

保護者	富津市再配置構想にとらわれているが、小中学校の教育のレベルを上げて富津市教育、小中教育の方針を考えていただきたい。
今井課長	現場の先生方も頑張っている。富津市の教育を真剣に考えている。
保護者	教育の一部を民間に委託できないか。
今井課長	民間は考えていない。地域ボランティアは活用していく。
保護者	立て直しの費用はいくらかかるのか。
鶴岡課長	15億円程度と考えていますが、国の補助を受けていきます。
	6. 閉会の言葉